

2025年(令和7年)5月7日(水曜日)

電波新聞

西菱電機 大阪・関西万博で展示
13日から「未来の防災体験」

西菱電機は5月13～19日の1週間、大阪・関西万博内のフューチャライフヴィレッジで「未来の防災体験」をテーマに体験型の動画面展示を行う。来場者には、地震発生時から避難所にたどり着くまでの避難行動を未来の技術を通して体験できる動画で、防災につい

て考えるきっかけを提供する。同社は、1970年の大阪万博で会場内の無線通信設備の保守・運営を担当していた。また、今回の大阪・関西万博では「TEAM EXPO 2025」プログラムに参加。大日本印刷や立命館大学などの連携パ



展示ブースのイメージ(提供：西菱電機)

主力事業の一つとする同社は、長年にわたり培ってきた防災のノウハウを結集。

今回の展示では同社が考える10年後の防災技術がどのようにになっているかを動画で表現した。

展示ブースには、幅3.5メートル×高さ2.6メートルの半円のドームシアターを設置。最大で10人ほどが体験できる。

動画は、10分ほどで3回の分岐がある。ど

の選択肢を選ぶか参加者同士で話し合いをしてもらう。選択によってストーリーが変化する。

動画では、同社が考える最新技術を使い、避難をしていく。自分事として捉えやすくするため、一人称視点を採用した。

動画は、立命館大学政策科学部の豊田祐輔准教授が監修。災害における「共助」の大切さやコミュニティ防災のトレンドなどのアドバイスを受け、より現実に近いものにしていった。

社会システム事業部

事業推進部の橋本康彦部長は「改めて防災について考えるきっかけにしていきたい。海外の方にも日本の防災について知ってもらえれば」と話す。

5月13日からは、同社の特設サイトでも動画を公開予定。会場と同様に分岐を体験できる。